



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月25日

上場会社名 株式会社 富士通ゼネラル

上場取引所 東

コード番号 6755 URL <https://www.fujitsu-general.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤悦郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役
コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 加納俊男

TEL 044-861-7627

四半期報告書提出予定日 2024年2月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	214,496	16.5	502		4,797	5.6	2,229	0.7
2023年3月期第3四半期	256,765	29.6	3,683	28.8	4,544	20.4	2,214	27.2

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期 6,178百万円 (57.7%) 2023年3月期第3四半期 3,918百万円 (10.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	21.29	
2023年3月期第3四半期	21.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	268,367	142,375	50.3
2023年3月期	298,390	139,570	44.7

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 134,857百万円 2023年3月期 133,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		17.00		17.00	34.00
2024年3月期		18.00			
2024年3月期(予想)				18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	16.4	4,000	73.5	8,000	54.1	5,000	42.5	47.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) TCFG Compressor (Thailand) Co., Ltd.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	109,368,914 株	2023年3月期	109,339,548 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	4,631,454 株	2023年3月期	4,631,407 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	104,724,416 株	2023年3月期3Q	104,695,637 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- 2023年10月24日に公表いたしました連結業績予想を本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT Dnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）におきましては、国内向け空調機および情報通信システムの売上は増加しましたが、海外向け空調機の減収が大きく、連結売上高は2,144億9千6百万円（前年同期比16.5%減）となりました。

損益につきましては、コストダウンの進展や素材価格などコスト環境の好転はあったものの、流通在庫圧縮を目的とした海外向け空調機の出荷抑制に伴う減収影響が大きく、営業損益は5億2百万円の損失（前年同期は36億8千3百万円の利益）となりました。経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は、為替変動に伴う為替差益の計上等により、それぞれ47億9千7百万円（前年同期比5.6%増）、22億2千9百万円（同0.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<空調機部門>

空調機部門では、前年同期に上海市都市封鎖の影響を大きく受けた国内向けの売上は回復したものの、海外向けでは、中東、北米向けの前年同期の出荷が高水準であったことに加え、コロナ禍後の消費動向の変化や世界的なインフレの進行などに伴う各地域での需要停滞による流通在庫の増加や、商品供給不安解消に伴う追加受注の鈍化などにより、売上高は1,922億5千2百万円（同18.1%減）となりました。営業損益は、コストダウンの進展や素材価格などコスト環境の好転はあったものの、流通在庫圧縮を目的とした海外向けの出荷抑制に伴う減収影響が大きく、28億2千3百万円の損失（前年同期は22億3百万円の利益）となりました。

[海外向け]

売上高は、1,561億1千7百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

中東、北米向けの前年同期の出荷が高水準であった影響が大きいことに加え、欧州向けA T W（ヒートポンプ式温水暖房システム）の販売減もあり、前年同期比で減収となりました。

また、サプライチェーン正常化に伴い、供給が遅れていた受注残の出荷が前年度に大きく進展したものの、商品供給不安解消に伴い販売代理店等からの追加受注が鈍化しているほか、各地域での需要停滞などにより、流通在庫が高水準となり、北米等において当初の想定より現地在庫削減に時間を要している状況です。こうしたなか、出荷を抑制し現地販売促進に最優先で取り組みました。なお、地域別の状況は以下のとおりです。

米州では、北米において、一昨年度からの販売ずれ込みにより前年同期の出荷が高水準であったことに加え、販売代理店等における在庫削減に注力し出荷を抑制したことから、売上が減少しました。なお、当初の想定より現地在庫削減に時間を要しており、販売促進策を強化し引き続き消化促進に努めるとともに、今後の販売拡大に向けた販路開拓の取り組みを進めております。

欧州では、ルームエアコンの販売が前年同期を下回ったほか、A T Wにおいて、サプライチェーン混乱下でも市場拡大期待に応えて優先的に生産・出荷し、現地在庫の積み増しが進んでいたところ、補助金制度の変更をはじめとした一時的な市場環境変化の影響を受け、売上が減少しました。なお、今後の需要拡大が期待される施工性に優れたA T Wの新機種をはじめ、ルームエアコン、V R F（ビル用マルチエアコン）においても商品ラインアップ強化を進めております。

中東・アフリカでは、一昨年度からの販売ずれ込みにより前年同期の出荷が高水準であったことなどから、大幅減収となりましたが、流通在庫の削減は着実に進展しております。

オセアニアでは、商品供給の正常化により、ルームエアコンおよびV R Fの販売が前年同期を上回ったことから、売上が増加しました。

アジアでは、主力市場のインドにおいて、第1四半期は天候不順の影響を受けたものの、第2四半期以降ルームエアコンの販売が回復するとともに、V R Fの販売も堅調に推移したほか、タイの空調機用コンプレッサー製造会社の連結化効果もあり、売上が増加しました。

中華圏では、中国において、不動産市況の低迷などにより、V R Fの販売が停滞したほか、台湾向けの売上が減少したことなどから、売上が減少しました。

〔国内向け〕

売上高は、361億3千4百万円（同15.6%増）となりました。

ルームエアコン市場は、巣ごもり需要の反動減などにより業界出荷は前年同期を下回りました。当社は、上海市都市封鎖の影響による大幅な出荷減があった前年同期に対し、今年度は出荷が正常化していることから、主に住宅設備ルート向けの販売が回復するとともに、売価改善にも取り組み、売上が増加しました。また、環境意識の高まりなどから、省エネ性の高い機種や、暖房機として高い安全性・快適性も備え需要が拡大傾向にある寒冷地向け機種の販売が伸長しました。

<情報通信・電子デバイス部門>

情報通信・電子デバイス部門では、情報通信システムの販売増により、売上高は202億2千9百万円（同1.5%増）、営業利益は14億2千7百万円（同229.2%増）となりました。

〔情報通信システム〕

売上高は、109億4千2百万円（同38.2%増）となりました。

公共システムにおいて、商談案件数が増加しているなか、受注済みシステムの納入が順調に進展するとともに、民需システムの販売増もあり、売上が増加しました。

〔電子デバイス〕

売上高は、92億8千6百万円（同22.7%減）となりました。

自動車生産の回復に伴い車載カメラの販売は前年同期を上回ったものの、産業用ロボット向け電子部品・ユニット製造において、中国における設備投資の停滞で販売が減少したことから、売上が減少しました。なお、今後の需要増が見込まれるパワーモジュールについて、大分県の協力工場に生産ラインを新設し、増産および安定供給への対応強化を図ります。

<その他部門>

売上高は20億1千4百万円（同2.1%増）、営業利益は8億9千3百万円（同14.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末（以下、当第3四半期末）の総資産につきましては、ノルウェー、ギリシャにおける販売代理店の連結子会社化に伴うのれんの計上などによる増加はありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産ならびに棚卸資産の圧縮に加え、タイにおけるコンプレッサー工場の持分法適用関連会社からの連結子会社化などに伴う投資有価証券の減少により、前連結会計年度末比（以下、前年度末比）300億2千2百万円減少し、2,683億6千7百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の減少などにより、前年度末比328億2千7百万円減少し、1,259億9千1百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの配当金の支払に伴い利益剰余金は減少しましたが、為替換算調整勘定などの増加により、前年度末比28億5百万円増加し、1,423億7千5百万円となりました。なお、昨年8月に譲渡制限付株式報酬としての新株式を発行したことにより、資本金および資本剰余金がそれぞれ47百万円増加しております。

この結果、当第3四半期末の自己資本比率は5.6%増加し、50.3%（前連結会計年度末は44.7%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間（以下、当期間）の営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、売上債権の回収および棚卸資産の圧縮などによる運転資本の減少ならびに税金等調整前四半期純利益および減価償却費の計上などにより、238億4千1百万円の収入（前年同期は135億1千2百万円の支出）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、開発・生産設備、基幹システム刷新等のIT関連への投資およびノルウェー、ギリシャにおける販売代理店ならびにタイにおけるコンプレッサー工場の連結子会社化に伴う株式取得により、128億7千2百万円の支出（同61億9千万円の支出）となりました。この結果、当期間のフリー・キャッシュ・フローは109億6千8百万円の収入（同197億3百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、金融機関への借入金返済および配当金の支払を行ったことなどにより、115億5千6百万円の支出（同219億4千2百万円の収入）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物残高は、前年度末比1億1千8百万円増加し、175億1千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、海外向け空調機において、第3四半期の売上は概ね計画どおりとなったものの、北米、欧州、中東などにおいて想定より市況回復が遅れているとともに、高水準となっている流通在庫削減に時間を要しており、第4四半期における販売計画を見直したことから、以下のとおり修正しました。

損益につきましては、素材価格などコスト環境の好転はあるものの、利益貢献の高い北米や欧州向けの売上予想の見直しによるマイナス影響が大きく、前回計画を大きく下回る見通しとなり、以下のとおり修正しました。

なお、短期的な経費削減・費用効率化にとどまらず、中長期的な収益構造を抜本的に見直すべく、調達費をはじめとしたトータルコスト構造改革、オペレーションの変革に取り組んでまいります。それにより、利益率向上、CCC（キャッシュ・コンバージョン・サイクル）改善を図り、財務体質強化と資本効率向上を目指してまいります。

連結業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期 通期 (実績)	2024年3月期	2024年3月期	増減額	増減率 (%)
		通期 前回(10/24)発表予想	通期 今回修正予想		
売上高	371,019	340,000	310,000	△30,000	△8.8
営業利益	15,098	16,000	4,000	△12,000	△75.0
経常利益	17,432	19,000	8,000	△11,000	△57.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,694	12,000	5,000	△7,000	△58.3

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,391	17,510
受取手形、売掛金及び契約資産	107,104	72,367
商品及び製品	54,267	48,779
仕掛品	2,696	2,374
原材料及び貯蔵品	15,795	20,155
その他	19,528	20,231
貸倒引当金	△803	△859
流動資産合計	215,981	180,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,037	39,698
機械装置及び運搬具	44,429	52,040
工具、器具及び備品	34,538	39,100
土地	8,900	8,900
建設仮勘定	455	1,549
減価償却累計額	△82,166	△94,132
有形固定資産合計	44,195	47,157
無形固定資産		
のれん	3,757	7,486
その他	16,183	18,427
無形固定資産合計	19,941	25,914
投資その他の資産		
投資有価証券	6,384	3,347
繰延税金資産	9,424	9,280
その他	2,473	2,118
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	18,272	14,736
固定資産合計	82,408	87,808
資産合計	298,390	268,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,763	34,178
短期借入金	32,716	26,821
未払法人税等	2,720	1,487
未払費用	20,835	14,157
製品保証引当金	5,109	5,036
海外事業等再編引当金	2,521	2,673
独禁法関連引当金	7,943	7,918
その他	13,604	14,818
流動負債合計	139,214	107,091
固定負債		
長期借入金	6	152
再評価に係る繰延税金負債	2,365	2,365
退職給付に係る負債	10,734	10,991
その他	6,498	5,390
固定負債合計	19,604	18,900
負債合計	158,819	125,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,172	18,219
資本剰余金	82	130
利益剰余金	109,900	108,465
自己株式	△5,024	△5,024
株主資本合計	123,131	121,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	704	995
土地再評価差額金	4,759	4,759
為替換算調整勘定	4,870	7,479
退職給付に係る調整累計額	△193	△168
その他の包括利益累計額合計	10,140	13,065
非支配株主持分	6,298	7,518
純資産合計	139,570	142,375
負債純資産合計	298,390	268,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	256,765	214,496
売上原価	200,617	166,171
売上総利益	56,147	48,325
販売費及び一般管理費	52,463	48,827
営業利益又は営業損失(△)	3,683	△502
営業外収益		
受取利息	159	213
受取配当金	155	215
有価証券売却益	—	98
持分法による投資利益	386	—
為替差益	—	5,003
その他	715	889
営業外収益合計	1,417	6,420
営業外費用		
支払利息	161	226
持分法による投資損失	—	58
事業構造改善費用	—	197
為替差損	136	—
その他	259	638
営業外費用合計	557	1,121
経常利益	4,544	4,797
特別利益		
段階取得に係る差益	—	162
特別利益合計	—	162
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による操業停止等に 伴う損失	1,300	—
特別損失合計	1,300	—
税金等調整前四半期純利益	3,243	4,959
法人税、住民税及び事業税	3,414	1,449
法人税等調整額	△3,231	323
法人税等合計	183	1,772
四半期純利益	3,060	3,186
非支配株主に帰属する四半期純利益	846	956
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,214	2,229

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,060	3,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	104	290
繰延ヘッジ損益	21	—
為替換算調整勘定	660	2,561
退職給付に係る調整額	14	24
持分法適用会社に対する持分相当額	58	114
その他の包括利益合計	858	2,991
四半期包括利益	3,918	6,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,126	5,154
非支配株主に係る四半期包括利益	791	1,023

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,243	4,959
減価償却費	5,626	6,233
のれん償却額	314	353
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△162
引当金の増減額 (△は減少)	58	△493
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	142	70
受取利息及び受取配当金	△315	△428
支払利息	161	226
売上債権の増減額 (△は増加)	8,581	39,973
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,581	15,176
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,097	△27,538
その他	△5,924	△11,337
小計	△10,790	27,031
利息及び配当金の受取額	315	430
利息の支払額	△157	△225
法人税等の支払額	△2,879	△3,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,512	23,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,403	△3,650
有形固定資産の売却による収入	24	31
無形固定資産の取得による支出	△2,525	△3,348
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,982
その他	△286	77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,190	△12,872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	26,134	△7,293
長期借入金の返済による支出	△3	△52
配当金の支払額	△3,444	△3,653
その他	△743	△556
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,942	△11,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	148	706
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,387	118
現金及び現金同等物の期首残高	14,202	17,391
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,590	17,510

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	234,861	19,930	254,792	1,973	256,765
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	545	545	270	815
計	234,861	20,475	255,337	2,243	257,580
セグメント利益	2,203	433	2,637	1,046	3,683

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,637
「その他」の区分の利益	1,046
四半期連結損益計算書の営業利益	3,683

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	192,252	20,229	212,481	2,014	214,496
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,373	1,373	281	1,654
計	192,252	21,603	213,855	2,295	216,151
セグメント利益又は損失(△)	△2,823	1,427	△1,396	893	△502

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,396
「その他」の区分の利益	893
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△502

(収益認識関係)

当社グループは、売上高を顧客の所在地を基礎とした国又は地域に分解しております。
分解した地域別の売上高と報告セグメントとの関係は以下のとおりです。

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	31,245	17,496	48,741	1,973	50,715
米州	49,805	39	49,844	—	49,844
欧州	59,787	130	59,918	—	59,918
中東・アフリカ	31,091	—	31,091	—	31,091
オセアニア	24,300	—	24,300	—	24,300
アジア	24,886	283	25,170	—	25,170
中華圏	13,745	1,979	15,724	—	15,724
外部顧客への売上高	234,861	19,930	254,792	1,973	256,765

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	空調機	情報通信・ 電子デバイス	計		
日本	36,134	19,242	55,377	2,014	57,391
米州	24,400	—	24,400	—	24,400
欧州	49,076	119	49,195	—	49,195
中東・アフリカ	16,648	—	16,648	—	16,648
オセアニア	25,426	—	25,426	—	25,426
アジア	29,952	196	30,148	—	30,148
中華圏	10,612	670	11,283	—	11,283
外部顧客への売上高	192,252	20,229	212,481	2,014	214,496

(注) リース取引に係る収益は、重要性がないため、売上高に含めて表示しております。